



旭山動物園マイスター通信



No.11

2012年2月25日 発行 旭山動物園マイスターボランティア事務局

期待膨らむ新施設

旭川市が旭山動物園に14億円をかけて新施設を建設するというビッグニュースが報じられました。新年度、キリンやカバが入る『大型草食獣館』と、フクロウやキタキツネなどの『北海道産動物舎』の建設に着手するそうです。どんな施設ができあがるのでしょうか。ゾウもやってきてくれるといいのにと、勝手な期待も膨らんでいきます。

旭川市が旭山動物園に14億円をかけて新施設を建設するというビッグニュースが報じられました。新年度、キリンやカバが入る『大型草食獣館』と、フクロウやキタキツネなどの『北海道産動物舎』の建設に着手するそうです。どんな施設ができあがるのでしょうか。ゾウもやってきてくれるといいのにと、勝手な期待も膨らんでいきます。

今年もベビーブームかな?

冬の間、お目にかかれぬブラッザグエノンですが、かわいい赤ちゃんを産んだようです。授乳も確認されすくすくと育っているとのこと。4月28日の夏期開園時には大きくなっていることでしょう。早く見たいですね。

冬の間、お目にかかれぬブラッザグエノンですが、かわいい赤ちゃんを産んだようです。授乳も確認されすくすくと育っているとのこと。4月28日の夏期開園時には大きくなっていることでしょう。早く見たいですね。



ミニダルマが園内あちこちでほほえんでいます



水と雪を混ぜて鉄製の型に詰めて「はいできあがり」と、簡単そうでしたが、なかなか難しい作業でした。寒くて指先がじんじんしてくるほどでしたが、16個の雪ダルマを完成させました。フェルトで目や口を付けて、美人のミニダルマの誕生です。入り口や園内の目立つ場所にちょこんと飾られています。マイスター5名、JC3名が奮闘しました。

今年も見事な雪像が誕生しました

雪ダルマは、始めは傾いてどうなることやらと思いましたが、みんなの協力でイケメンダルマが完成しました。高校生5名と先生と一緒に加わってくれ、水と雪を混ぜ整形する作業を若さで続けてくれました。寒い中を本当にありがとう！大きな戦力になりました。

かまくらは、マイスターの宮浦さんがチーフになって、ドーム型の天井も見事に仕上げてくださいました。



高校生も寒さに負けずに頑張りました



翌週、写真撮影のお手伝いには、2日間でマイスター11名、JC17名、高校生と先生13名が参加しました。そして両日でなんと1600組のお客様の写真撮影をして喜ばれました。雪ダルマやかまくらの前で撮った写真は、いい思い出になったことでしょうね。また、うれしいことに、吹雪の中を1日中撮影補助で頑張ってくれた女子高校生もいて、お客様が感心していたそうです。今年は、高校生の頑張りで私たち

も元気をもらいました。体は冷え切ったけれど、エネルギーが沸いてきた取組でした。